

議会だより

11月 ● No.4

発行責任者：南魚沼市議会議長 駒形 正博

編集：議会広報編集特別委員会

新南魚沼市の予算を可決	2～3頁
市長所信表明（抜粋）	3頁
こちら常任委員会です	6頁
19議員が熱弁振るう ―一般質問―	8～17頁

9月定例会の傍聴者 **31人**（延べ）でした

写真提供 近藤茂樹さん（止町）

新南魚沼市の予算を可決



平成17年9月議会は9月1日から16日までの16日間の会期中で、16年度六日町・大和町合併後の決算や一般会計補正予算（第2号）の他、10月1日の塩沢町との合併後の17年度後半分の新南魚沼市の予算など、市長から提出された各会計予算9件、条例の制定、改正など107件、その他27件を審議し原案どおり可決しました。

また議員発議による南魚沼市議会委員会条例の改正や意見書の提出など4件が審議可決されました。

◎一般会計補正予算（第2号）主な項目

（1万円未満切捨て）

- 衆議院議員選挙、最高裁国民審査費 **2,560万円**
- 「セルフ こぶし工房」訓練支援費 **963万円**
- 大和老人福祉センター「湯咲荘」改修工事他 **3,525万円**
- 保育園非常勤職員賃金 Δ **1,445万円**
- 被災地域緊急雇用創出事業 **6,905万円**
- 流雪溝敷設事業（大和町1丁目地内） **1,500万円**
- 西泉田市営住宅他改修工事 **420万円**
- 災害復旧工事（6/27大雨災害、地震災害） **4,200万円**
- 土地購入費（旧五日町定高跡地、水尾集会所） **5,280万円**
- トップブランド新潟米推進事業過年度補助金 **1,575万円**
- 予備費 Δ **1億1,459万円**

市長

所信表明

(抜粋)



井口市長

「基幹病院は大和地域内に」

「魚沼地域基幹病院建設推進協議会」を地元関係首長及び医師会長らと組織して協議を重ねてきました。

新幹線を利用した医師の確保や患者の利便性を考え位置は大和地域内で合意しました。

設置および運営を県が行なうこと、一般病床300〜400床、精神病床50〜100床程度とすること、設置後の県立六日町病院、小出病院の運営については関係自治体が県と協議、検討を行ないながら対応することを柱とした要望を9月2日に知事に行いました。

今後は、早期建設に向けた働きかけを行なっていくとともに、市立病院の在り方についても検討を重ねていきます。

「遺伝子組み換え栽培中止を」

今年5月から6月にかけて、北陸農業総合研究センターが実施した遺伝子組み換えイネの屋外栽培実験に対して、本市議会からの国・県への意見書の提出に続きまして、市も農業委員会とともに研究センター宛に栽培実験の中止を求める意見書を提出しました。新潟県市長会においても栽培実験の中止を決議いただき、農林水産大臣、環境大臣及び同センター宛に意見書を提出しました。

「野田ハーフインターチェンジ(仮称)を追加」

国道253号八箇峠道路は4車線を2車線にし、脆弱な西山層を避けるためトンネル延長を約5^{キロ}から約3^{キロ}に縮小、地すべりを避けるため八箇インターチェンジ(仮称)を南魚沼市寄りにするほか、野田

ハーフインターチェンジを追加して、県道欠ノ上五日町線と接続する変更が発表されました。

この変更により工期が2年程度短縮され、事業費も約800億円から400億円に縮減できるということです。引き続き事業促進に努めてまいります。

「新南魚沼市へ移行」

塩沢町との合併は、昨年の六日町・大和町の合併の経験を生かし、スムーズな新体制への移行を果たすべく職員一丸となって取り組んでいます。市をとりまく情勢は、依然

として厳しい中にありますが、課題を先送りせず、一つ一つ着実に解決していくことにより、必ずや明るい展望が見え目が達成できるものと確信しています。

地方分権の時代に、住民に最も身近な自治体だからこそできる施策を展開し、「自然・人・産業の和で築く安心のまちづくり」をテーマに、合併を有効に活用して、市民が生涯を安心して過ごすことができる市政の実現に全力を傾けます。

◎塩沢町との合併後の予算を認定

17年度の塩沢町の予算残を合わせ合併後の一般会計の予算総額が239億円になりました。その他、5特別会計と1企業会計を可決。(1万円未満切捨て)

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計補正予算(第3号)	182億9,392万円	56億1,300万円	239億 692万円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	35億 100万円	11億8,080万円	46億8,180万円
介護保険特別会計補正予算(第1号)	28億5,340万円	8億9,313万円	37億4,653万円
老人保健特別会計補正予算(第2号)	39億6,554万円	12億7,822万円	52億4,377万円
下水道特別会計補正予算(第3号)	37億 877万円	12億7,142万円	49億8,020万円
訪問看護特別会計補正予算(第1号)	6,300万円	489万円	6,789万円
水道事業会計補正予算(第2号)	収益 17億1,728万円	5億2,127万円	22億3,856万円
	資本 6億7,244万円	4億8,755万円	11億6,000万円

☆水道事業会計の収益的収支、資本的収支は収入または支出の予算額の大きい方を計上。

〈塩沢町の主な施設と特徴的な事務施策〉

- ◎施設 中之島診療所(医療業務は委託)、今泉博物館、鈴木牧之記念館、大原運動公園、勤労者体育センター、農業者トレーニングセンター
- ◎事務施策 国際交流(リレハンメル市、セルデン町、アシュバートン郡)、国際交流及び文化・スポーツ基金の設置、税徴収嘱託員(東京事務所)の設置、県営ジャンプ台管理受託、学校給食は自校方式、土地開発公社保有地なし、地区開発センターは設置していない

	議 案	区 分	議決結果
合併関係 条例改正	南魚沼市公有林野等に関する 条例	一部改正	原案可決
	南魚沼市火入れに関する条例		
	南魚沼市企業立地促進条例		
	南魚沼市露店市場管理条例		
	南魚沼市駐車場条例		
	南魚沼市受益者負担に関する 条例		
	南魚沼市都市公園条例		
	南魚沼市道路占用料徴収条例		
	南魚沼市公共物管理条例		
	南魚沼市河川管理条例		
	南魚沼市市営住宅条例		
	南魚沼市下水道条例		
	南魚沼市特定環境保全公共下 水道事業等分担金条例		
	南魚沼市都市計画下水道事業 受益者負担に関する条例		
	南魚沼市水道事業の設置等に 関する条例		
	南魚沼市水道事業督促手数料 及び延滞金徴収条例		
	南魚沼市水道給水条例		
財産区管理会条例	新 制 定	原案可決	
鈴木牧之記念館条例			
南魚沼市立今泉博物館条例			
南魚沼市立今泉博物館協議会 条例			
南魚沼市立中之島診療所条例			
南魚沼市立中之島診療所医師 住宅管理条例			
南魚沼市塩沢勤労者福祉会館 条例			
塩沢勤労者体育センター条例			
南魚沼市塩沢交流広場条例			
南魚沼市石打スポーツ施設条 例			
南魚沼市児童遊園条例			
南魚沼市老人福祉センター条 例			
南魚沼市農村環境改善センタ ー条例			
南魚沼市農業者トレーニング センター条例			
南魚沼市農村公園条例			
南魚沼市農村広場条例			
南魚沼市長崎グラウンド管理 棟条例			
南魚沼市広域観光駐車場条例			
塩沢都市計画事業樋渡地区土 地区画整理事業施行に関する 条例			
塩沢都市計画観光地区建築条 例			
南魚沼市国際交流及び文化・ スポーツ基金条例	承 認		
専決処分した事件の承認につ いて（新潟県市町村総合事務 組合を組織する地方公共団体 の数の減少及び規約の変更に ついて）			

	議 案	区 分	議決結果
そ の 他	新潟県市町村総合事務組合を 組織する地方公共団体の数の 減少及び規約の変更について	原案可決	
	南魚沼地域広域連合を組織す る地方公共団体の数の減少及 び規約の変更について		
	魚沼地域広域水道企業団の解 散について		
	魚沼地域広域水道企業団の解 散に伴う財産処分について		
	魚沼地域特別養護老人ホーム 組合を組織する地方公共団体 の数の減少及び規約の変更に ついて		
	魚沼地域胃集団検診協議会を 組織する地方公共団体の数の 減少及び魚沼地域胃集団検診 協議会規約の変更について		
	南魚沼地域予防接種健康被害 調査委員会を組織する地方公 共団体の数の減少及び南魚沼 地域予防接種健康被害調査委 員会共同設置規約の変更につ いて		
	魚沼地区障害福祉組合を組織 する地方公共団体の数の減少 及び魚沼地区障害福祉組合規 約の変更について		
	魚沼地域視聴覚教育協議会を 組織する地方公共団体の数の 減少及び魚沼地域視聴覚教育 協議会規約の変更について		
	南魚沼地域土地開発公社の設 立団体の変更及び同公社定款 の変更について		
	字の名称の変更について		
	公の施設の相互利用に関する 協議について		
	関越自動車道の救急業務に関 する事務受託について		
	南魚沼市・塩沢町合併協議会 の廃止について		
	市道の廃止について		
市道の認定について			

◎議員提出議案

	議 案	区 分	議決結果
条 例	南魚沼市議会委員会条例	一部改正	原案可決
規 則	南魚沼市議会会議規則		
意 見 書	被災者生活再建支援法及び関 連法令の改正を求める意見書 の提出について	採 択	
	公教育である私立高校を守り 発展させるため、私学助成の 増額・拡充を求める意見書の 提出について		

合併関係条例改正は、既存の南魚沼市の条例の一部を改正した条例です。
合併関係条例制定は、塩沢町にあった公の施設等について南魚沼市に新しく条例を制定したものです。

9月定例会での議決結果をお知らせします

◎市長提出議案

	議 案	区 分	議決結果
補正予算	平成17年度一般会計 ほか1件		原案可決
決算認定	平成16年度一般会計 ほか9件		認定可決
補正予算	平成17年度一般会計（合併関係） ほか6件		原案可決
条例制定	南魚沼市議会の議員の定数を定める条例	新 制 定	原案可決
条例廃止	南魚沼市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例	廃 止	原案可決
条例改正	南魚沼市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例	一部改正	原案可決
	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例		
	南魚沼市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例		
	南魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例		
	南魚沼市地下水の採取に関する条例	全部改正	原案可決
合併関係 条例改正	南魚沼市役所の位置を定める条例	一部改正	原案可決
	南魚沼市課設置条例		
	南魚沼市行政区長設置条例		
	南魚沼市情報公開条例		
	南魚沼市個人情報保護条例		
	南魚沼市行政手続条例		
	南魚沼市印鑑条例		
	南魚沼市認可地縁団体印鑑条例		
	南魚沼市災害救助条例		
	南魚沼市災害弔慰金の支給等に関する条例		
	南魚沼市山岳登山の安全保持に関する条例		
	南魚沼市交通安全の確保に関する条例		
	南魚沼市固定資産評価審査委員会条例		
	南魚沼市職員定数条例		
	南魚沼市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例		
	南魚沼市職員の定年等に関する条例		
	南魚沼市職員の懲戒の手続及び効果に関する条例		
	南魚沼市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例		
	南魚沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例		
	南魚沼市職員の育児休業等に関する条例		
	南魚沼市職員の給与に関する条例		
	南魚沼市職員の寒冷地手当の支給に関する条例		
	南魚沼市職員の旅費に関する条例		

	議 案	区 分	議決結果
合併関係 条例改正	南魚沼市税条例	一部改正	原案可決
	合併に伴う南魚沼市税条例の適用の経過措置に関する条例		
	南魚沼市入湯税条例		
	南魚沼市都市計画税条例		
	南魚沼市国民健康保険税条例		
	南魚沼市行政財産の目的外使用条例		
	南魚沼市手数料徴収条例		
	南魚沼市督促手数料及び延滞金徴収条例		
	南魚沼市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例		
	南魚沼市財政調整基金条例		
	南魚沼市減債基金条例		
	南魚沼市国民健康保険支払準備基金条例		
	南魚沼市介護給付費準備基金条例		
	南魚沼市介護保険高額介護サービス費等貸付基金条例		
	南魚沼市教職員住宅条例		
	南魚沼市立学校設置条例		
	南魚沼市学齢児童生徒の就学援助条例		
	南魚沼市奨学金貸与条例		
	南魚沼市学校給食センター条例		
	南魚沼市公民館条例		
	南魚沼市図書館条例		
	欠之上セミナーハウス条例		
	南魚沼市屋外体育施設条例		
	五日町シャンツェ条例		
	南魚沼市青少年問題協議会条例		
	南魚沼市文化財保護条例		
	南魚沼市社会福祉法人の助成に関する条例		
	南魚沼市保育園条例		
	南魚沼市在宅介護支援センター条例		
	南魚沼市国民健康保険条例		
	南魚沼市介護保険条例		
	南魚沼市訪問看護事業の設置等に関する条例		
	南魚沼市居宅介護支援事業条例		
	南魚沼市保健センター条例		
	南魚沼市資源を大切にする条例		
	南魚沼市農林災害復旧事業等の分担金条例		
	南魚沼市農業集落排水施設整備事業分担金徴収条例		
	南魚沼市農業集落排水処理施設条例		
	南魚沼市農業集落多目的集会施設等条例		

総務文教委員会

防災無線機、 通信困難地域に配分

○期日 8月3日

○調査内容

①防災無線

・本庁舎に統制局、各地に半固定局と移動局を置き、中継局を作ります。
・施設工事の入札は松下電器産業株が9千730万円で落札しました。

②財政状況

17年度の普通交付税は56億6千万円、前年比4億円の増、臨時財政対策債の減が約2億円、差引2億円の増です。

③管内美術館

④移動局は区長に配分しないのか。

⑤無線の混乱を避け、災害時に通信等の断絶が考えられる地域以外は、区長に配分しない。

⑥維持費はどれくらいか。

池田記念美術館・トミオカホワイト美術館ともに入館者は減少傾向、ベースボールマガジン社や市の補助金への依存度が高く、経営的には不安定です。

産業建設委員会

水道事業 合併後は市の管理に

○期日 8月5日

○調査内容

①畔地浄水場の管理運営について

浄水場は水道企業団で管理しています。10月1日の塩沢町との合併後は市で管理をします。

②八色西瓜の集荷状況について

担当課から、今年度は豪雪により定植が遅れ、出荷は7月20日より始まり、最盛期には一日で7月31日に2万7千玉、8月1日に3万玉となりました。

③取水用水路の維持管理費を五城土改に800万円から900万円に増やすか。

平成17年度は50万円です。

社会厚生委員会

「セルプこぶし工房」 10月1日開所

○期日 8月2日

○調査内容

①南魚沼福祉会授産施設について

塩沢町の「手をつなぐ親の会」の強い要望を受け、南魚沼福祉会が建設中の授産施設「セルプこぶし工房」を見学しました。

②規模は300〜400床

魚沼地域基幹病院について市長より県への要望内容が示されました。

この施設は知的障害者が通所し、仲間と一緒に作業する工場です。仕事内容は現在、冷凍食品加工と自動車部品製造の申し込みがあるそうです。

当が出来ます。職員給与、維持費は県の支援費で賄われます。定員は26名ですが、現在15名の申し込みがあります。

・規模は300〜400床、精神病床50〜100床
・設置場所は大和地域
・設置及び運営は新潟県
・既存六日町病院、小出病院の運営は地元自治体が県と



トミオカホワイト美術館

④給食センター

- ・夏休み中のため大和のセンターだけ視察しました。
- ・朝食抜きの生徒の状況は、菓子パン等で済ます事も相

当あり、保護者への指導は難しい。塩沢町の自校方式には、合併後に検証したい。

(委員長 牛木茂雄)

玉出荷、販売金額5億円を見込んでいるとの説明がありました。

質疑で生産者戸数

の減少が取り上げられ、高齢になっても生産できる小玉西瓜を増やしたいとの答弁がありました。



八色西瓜選果場

③その他

- ・ぶどう植栽
- ・「コシヒカリ紙」の取り組み
- ・三国川ダム周辺道路状況

・個別浄化槽整備事業などについて調査しました。

(委員長 若井達男)



建設中の「セルプこぶし工房」

協議、検討する

- ・十日町病院については、2・5次医療の機能を持たせ早急に着工
- この要望書は、南魚沼市、魚沼市、湯沢町、十日町市、津南町の首長と医師会で意志統一がなされました。

③その他

- ・広域連合「金城の里」(含現地視察)
- ・介護保険法の改正
- ・容器包装リサイクル法
- ・病院事業の運営状況などについて調査しました。

(委員長 種村俊夫)

問

質

一

一

「安心のまち」は 踏み込んだ防災等で

答 自主防災組織の構築が必定

遠山 力 議員

①大災害などのとき、頼りになるのは隣近所、地域力である。

行政区間の地域力のバラツキをどのようにして底上げするのか。

また、自主防災組織の組織化促進について

②市役所にいる「消防団員である職員」で消防隊を組んで、昼間の消防力不足地区に出動できるようにできないか。

③竹俣にある消防本部庁舎は、古くな

って心もとな

い。市の防災拠点たる消防本部庁舎を、いつごろどこに建てるか。

市長

①地域によって

様々な要素がある。地域力にバラツキはある。防

災無線の整備もあり、全行政区に自主防災組織の構築を強くお願いしていきたい。

②市役所職員で消防団を編成するのは、常時体制とか、既存の消防団とのかね合いなどから無理である。



市職員は、近まの災害等には、積極的に活動するようになっている。

③庁舎建設に絡めるとか、他の場所との声があるが、結論はまだでていない。早めに向性を出した。

その他の一般質問

ここに掲載するほか、次の質問がありました。

○樋口 和人 議員

・銭淵公園に売店の設置を求める

○松原 良道 議員

・ゴミ焼却場（広域）のゴミ受け入れ状況について

○岡村 雅夫 議員

・アスベスト被害について

○石原 健一 議員

・環境問題にどう取り組むのか

○上村 守 議員

・災害時に対応する自家発電装置を各集落に配置できないか

・騒音、落書防止条例を制定せよ

○関 忠良 議員

・新たな「食料・農業・農村基本計画」と市の農業施策について

○牛木 芳雄 議員

・合併後、市庁舎の利

用について

○和田 英夫 議員

・子育て親育ちレインボープランについて

○志太喜恵子 議員

・子育て支援課の全体像について何う

○若井 達男 議員

・南魚沼市の観光行政を問う



(質問順)

新市の総合計画を示せ

答 3月に議案提出

種村 俊夫 議員

いよいよ10月1日に塩沢町も含めた新南魚沼市が誕生する。六日町、大和町、塩沢町、広域連合では、それぞれ総合計画があった。

窓口業務のスリム化、職員の適正配置等の行財政改革。スポーツ・勉学、芸術を誰でもどこでも学べる教育環境づくり。優秀な若者の住める一丁産業の育成等の産業問題、個人分配される福祉ではなく、保育士の拡充など広く受けられる福祉の拡充など、今後100年の大計となる、太い幹を持った南魚沼市総合計画の基本的考えを示せ。

市長

総合計画は塩沢町が合併してから作りたかった。平成18年以降10年間の基本構想と5年間の前期計画を早急に立ちあげたい。10月には素案。11月には旧南魚沼市に提示、11月以降は塩沢地区で行われる市政懇談会で説明したい。大和、塩沢地区の地域審議会を経て、総合審議会の了承の後、3月に議案提出したい。



六日町中心市街地の

水害対策スピード上げよ

答 県に早期完了を要望

市長

十二沢河の改修工事は平成15年、県の新規事業となり現在工事進行中である。引き続き県に対して早期完了を強く要望していく。

慢性的な被害地域に対して今年度、市民会館付近を流雪溝工事整備を行い水害対策にも対応していく。今議会で補正予算1千500万円を計上した。他の慢性的地域においても考えられる応急対策には取り組んでいく。



平成13年8月の出水

若井 達男 議員

水害に強い街づくりというところで4年前の9月議会で十二沢川の早期改修を取り上げた。この年

「十二沢川改修推進協議会」が設立され、平成15年新規事業採択となり工事が進行中である。そうした中、今年も8月13日、

床下浸水66棟が被害に遭っている。今の事業ペースでいけば、完了まで20年から25年の年数がかかる。

事業のスピード化を図り、一時も早い改修を望むものである。併せて慢性的な水害地域に対して早急な応急対策を必要とするが市長の所見を伺う。

市庁舎建設は職員削減を早めた上で

答 サービス低下への懸念にも配慮

中沢 俊一 議員

6月議会での「塩沢町との合併後、市庁舎建設の方向で検討会を」との市長発言を受け、私的なアンケート調査を行った。「賛成」は「条件付き」を含めても3割に過ぎず、建設の意義を市民が理解するには、課題が多い。アンケートの書き込みで目立つのが、市職員の定数、待遇、仕事ぶりに対する不満や批判だが、職員も自信と誇りを持って仕事をしたいはずだ。仕事は少数でやれば精銳が育つ。退職補充を減らし、定数削減計画を10年から5年に縮めよ。23億円が浮き、精銳化も進む。

市長

アンケートの設問では、13%の「賛成」はむしろ多いと感じた。全課を集中させるには現庁舎のみでは狭いため、増築で対応することは、経済的にもメリットが多いと思う。議員が指摘する、大和、塩沢庁舎の民間への貸付けは、募っても結構だ。指摘の職員削減期間の短縮は、まだ検討していないが、急激な削減による市民サービス低下への配慮も必要だ。職員給料への批判も多いと聞いたが、当然見合う仕事をし、応対にも気を配るよう、常々申し渡しているところだ。



指定管理者制度の導入は

答 充分検討して活かしたい

片桐 貞夫 議員

この制度は、民間、建設業、NPO等公募に依れば誰でも参加出来るという、規制緩和の一端として指定管理者制度ができた。

選定基準は単なる価格だけでなく利用者の利便性、個人情報取り扱い、社会貢献活動に対する取り組みなど重要な要素だといわれている。

公共施設といっても文化、体育、福祉施設など多岐にわたる、この制度の導入について「評価」の難しさもあるといわれる。導入について市長の考えを聞きたい。



指定管理者制度第1号「有機センター」

市長

3月議会するとき、指定管理者制度の1号として若荷沢の有機センターを委託した。

議員が言われるように委託については、事業内容など十分に説明し問題の起きないようにしたい。

市として今、委託の対象になるのは48施設だ。

特に、財団法人六日町文化スポーツ振興公社、しゃくなげ湖畔開発公社には、職員も雇用者も多いため、公募による委託を考慮している。

地域交通政策を問う

答 市民ニーズ優先の考えだ



「福祉バス」

和田 英夫 議員

現在当市では路線バス、福祉バス、病院送迎バスで運行している。

市長は施政方針で地域ニーズに配慮される交通政策を目指し病院経営への影響、送迎時間等の問題もある。

広域的患者送迎体制、

市長

市民の通学、通勤、病院、買い物等、利便性の向上及び全市一体的な交通政策を目指したいが、各地域運行体制に違いがあり、当面は病院送迎バスと塩沢地域に一部福祉バスを運行したい。

バス購入には財政支援がある。市財政は厳しいが市民の利便性を優先したい。一体的な運行体制には時間がかかり、利用状況によっては見直しを行いながら、全体的な交通体制確立に努めたい。

市の公共機関へのアクセスとして一体的、効果的システムを確立したいの考えだが、伺いたい。国からの財政支援は見込めるか。市民ニーズ優先か。経費削減の運行体制か。市の一体化事業として市民交流、地域交流に活かせる交通政策か。

一体感をつくるために「つらわータウン構想」を

答 市の花と木の決定がキーポイントか

笠原喜一郎 議員

多くの紆余曲折を経てようやく新生南魚沼市が誕生することとなった。

新しい市がスタートするということは、「一つの市」という一体感を行政も市民も持たなければならぬ。その手法として、市全体を一つの公園とみなしてみんなで取り組んではどうか。

山の緑、魚野川の清流、澄んだ空気、そして、各家庭には各種の花や木が植えられている。こうした一つ一つを集めて、「南魚沼フラワータウン構想」を推進し、市の目指すべき方向と、市民の一体感創出に取り組む考えはないか。

市長

理念は同感である。今、市の花と木を選定中であるが、その辺がキーポイントと考える。

一体感をつくるためには人的交流が必要であり、11月には市縦断駅伝も計画されている。

中野市のコスモスロードは区ごとに取り組んでいる。フラワールード、花一杯運動も全て行政というわけにはいかない。種子は行政がもつとしても、あとは市民参加が必要である。そうした取り組み方法にしていけないと、一体感もつくりられないと思っている。



市の木「コブシ」に咲く白い花

職業訓練の必要を伺う

答 景気回復受け、再評価

大久保 栄一 議員

昭和33年、職業訓練法の改定と時を同じくして郡内の町村長会が職業訓練の重要性を認識し、訓練協会の設立。昭和35年には待望であった職業訓練が開始された。以来幾多の困難を克服し、地域企業の強い協力を得る反面、地域産業界にも多大

な貢献を成したことも周知である。

しかしバブル崩壊後は普通認定訓練でも企業からの派遣生は減少の一途をたどり、今後の施設運営さえ危惧される。「職業訓練の役割りは終わった」という認識では片付ける訳にはいかない。市長の所見を伺う。

市長

17年度、サンティックスクールで実施している職業訓練は、配管科をはじめ12科26コースである。バブル崩壊後の平成12年から16年にかけては訓練生の数は極端に減少した。17年度に至り経済も上向き加減、雇用状況も改善のきざしが見えてきたことで、訓練生の数は前年を大きくうまわつて

いる。職業訓練は一時代を確たる貢献を成したと認識している。今後も産業界労働界のために職業訓練を実施、推進することで人材育成に努めたい。訓練生の積極的な受け入れを行っていく所存だ。



「魚沼サンティックスクール」

新庁舎は、現庁舎の有効活用で

答 増改築での対応に抑える

笠原 幹夫 議員

新庁舎建設を急ぐ方針だが、なぜ方針が変わったのか。

多くの市民が新庁舎を新たに建設することはムダ、急ぐ必要はないと考えているが、現有庁舎を活用するなどして、極力財政負担にならないようにすべきと思うがどうか。支所機能の維持や、地域開発センターなどを整備し、コミュニティの核として活かしていく考えはないか。

検討委員会（仮称）で新庁舎を新しい場所で作れとの答弁が仮りに出た場合、市長はどう対応するつもりか。

市長

大和町、六日町の2町合併では現在の機構で対応したが塩沢町が加わると職員数から見ても、利便性からも1ヶ所に集中する必要が生じてきた。

新庁舎は現在の本庁舎の位置で増改築して対応していきたい。近隣にはJAの敷地1千坪もあるので協力願ひ、現庁舎と二階でつなぎ一階は駐車場にしてはどうか。

新しい場所など財政的に全く無理だ。もしそんな結論ができれば、当分の間建設は断念し、プレハブでも対応せざるを得ない。



「塩沢庁舎」

公立病院の再編は

答 発展的な基幹病院

牛木 茂雄 議員

基幹病院の位置が決まり、公立病院の再編が大きき問題になった。

①設置・運営の主体はどこか。県の本心は。

②六日町病院の将来はどうなる。市は払い下げを受けるのか。

③大和病院の閉鎖は必至、住民に正しく伝えるにはどう説明するか。

④大和病院は「在宅」と「予防」に取り組んできた。健友館の活動をどう発展させるのか。

⑤基幹病院の建設には6〜7年かかる。その間住民への医療をどう提供するか。再編も含め、市長の展望を聞きたい。



市長

①設置の主体はこれからの問題である。魚沼に県が高度医療の病院をつくるのには、すなおに喜んでいい。

②六日町病院はベッド数等、縮小はあっても無くなる事はない。払い下げの可能性は有るだろう。

③大和病院は発展的解消だ。その機能が基幹病院に移ることもあり得ると考えている。

④健友館の活動は必要。残すべきものは残していく。三次救急の病院ができて悪くはならない。

⑤住民のためにも、現態勢を維持してゆく。発展的な再編である。

基幹病院は

答 4億円の赤字が見込まれる

岡村 雅夫 議員

場所は大和地域内に決定した。30年間培ってきた「大和医療福祉センター」の役割と機能を理解し、どう発展させ市民に波及させていくかが要だ。

齋藤大和病院長が設置主体は県と地元自治体との一部事務組合を提案しているが所見を伺う。大和病院の敷地と機能を生かした併設は考えられないか。

市長

南魚沼市に一任されたわけではない。合意を得た時点では構想を示し県との交渉にあたる。

両院長を入れたプロジェクトチームと庁内チームで将来計画を検討する。場所については大和地域で3案が考えられる。早急につめる。「健康の杜構想」は活かす方向だが変更はありうる。

県立県営では前に進まないとい県にいわれた。毎年4億円の赤字が見込まれる事業なので、地元自治体間の意見を詰め、9月中には県に回答したい。土地については地元提供の考えはないと聞いている。



地下水規制の見直し及び 区域内の除雪対策について

環境

答 河川水の加温利用に調査費

松原 良道 議員

地域完結型市政の条件整備の一つは、年間を通じて不自由なく生活できる道路、居住環境を整えることだ。除雪体制も昔に比べて格段に向上し、特別の豪雪でもなければ道路が止まることはまず考えにくい。しかし市街地の小路等では、降雪が続くと車が入れなくなる区域が見受けられる。除雪困難地域を解消することは、市民生活、防災上等の観点から重要な克雪対策と考える。

①規制の見直し、及び具体策の検討はされているか。

②沈下の影響を受けない区域の公共施設での地下水の有効利用が、これについての考え方は。

市長

市もただ規制だけを先行させてきたが、それにかわる具体策を考え、住民に方向性を打ち出していなかったことは事実だ。

①駅西の幹線道路除雪に對して、十二沢川からの水利権確保ができれば、河川水の加温システムによる道路消雪の検討に入るべく予算化した。

②合併により広範囲になった。沈下の影響を受けない区域の公共施設等は地下水の有効利用をする考えだ。



野生ザルの駆除を効果的に

答 実態を調査した上で

種村 充夫 議員

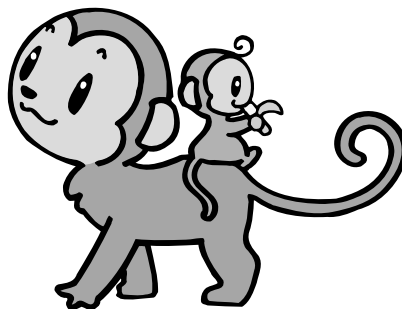
ここ数年市内東山山麓に野生サルが出没し、市民が大事に育てた作物に甚大な被害を受けている。

これから秋の収穫を迎える稲作にも被害が懸念され、住宅の近くにも出没するサルが人間にも被害があたえかねない状況となっている。

このサルの出没は今後も続くと思われるが、群をなして出没するサル軍団を、野生動物保護団体との関連も絡み、市としてどのように対応していくのか。また駆除の場合の許可期間と、申請者についても伺う。

市長

ご指摘のように、五十沢、城内、大倉地区にサルが出没し、被害を与えている。他にクラスも問題である。できれば射殺しないで駆除できればと考えている。農協と農区長とで鳥獣駆除対策協議



会的なものを組織し、実態調査を実施し対応したい。

それまでに被害が出た場合届け出てほしい。申請は個人でなく区長であり。また駆除期間は23日間である。

地球温暖化、市の対処は

答 環境基本計画の中で



議場内もクールビズで

志太喜恵子 議員

地球温暖化防止推進委員という仕事を、地区前任者から引き継いだ。

地球温暖化が進みつつあり、地球上の変化が心配される。県の研修会では、温暖化が進むと地球上に雨が多く、海水の水位が高くなり陸地が沈ん

市長

国の方針に基づいて、県では環境保全事業団に委嘱し、各自自治体範囲で委員を選び、地球温暖化防止策を広めようということ、7月23日にシンポジウムが行われた。

市ではどう取り組むということだが、「環境基本計画」を策定中だ。その中で地球温暖化防止の具体策案を入れていく予定である。

市からの地球温暖化防止推進委員は、松井政敏さんと志太喜恵子さんである。県の指示によって活動の輪を広げてもらいたい。

でゆく。気象の変化で作物が穫れなくなる。地温が上ると、水不足の生じる箇所もできる等、研究者の予測講話があり、京都議定書で世界的に各国が数値をきめ、温暖化防止策に取り組み決議をした話があった。

市ではどう具体的に取組むか。

本離れに歯止め、学校図書館の充実を

答 市内全校で16万冊を目指す

森山 幸子 議員

子どもの活字離れや、読解力の低下傾向が指摘されている中で、子どもが活字に慣れ親しむために、いろいろ工夫を凝らされていると思うが、

①各校における司書教諭の現状。

②読書スペースのあり方。

③蔵書、収集の内容は充実しているか。

④学校図書館をどのように工夫、活用しているか
具体策を。

⑤学校図書充実の年次計画はあるのか。

⑥今後どんなことが課題か。

教育長

①12学級以上の学校へ配置。小学校4校、中学校5校中4校（12学級ない学校もある）で配置。

②畳スペース、低学年には教室の脇に本を置く、おすすめコーナー、空き教室を調べ学習室に。

③整備すべき標準は13万冊に対し、市内全校では15万冊あるが整備が必要。今年度末までに16万冊をめざし充実につとめる。

④学級文庫として常時配置、休み時間、昼休み、夏休み中貸出し。

⑤⑥市の総合計画の中で実現したい。市の図書館態勢を蔵書数、職員配置も含め、強化につとめたい。



教育

妊産婦健診無料化せよ

答 不妊治療も含めトータルで

牛木 芳雄 議員

市は子そだて親そだち
レインボープランを作成
した。22年度までの行動
計画だが、この具体的行
動目標の中で次の事項に
ついて伺う。

- ① 保育サービスの充実お
よび児童の健全育成に
おける取り組みの推進
を10項目あげているが、
時期や規模を明確にす
べきだ。
- ② かつての六日町長選挙
時の公約「保育料の軽
減」「子育て支援基金」

はどうなった。
③ 妊産婦健診の完全無料
化実現に向けた取り組
みをせよ。

市長

① 延長、学童、病後児童
保育など明示してある。
子育て支援は最重要課
題と考えている。ただ
裏打ちされる財源がな
ければできない。

② 所得階層の細分化をし

たい。それにより軽減
となる人が出る。支援
基金構想はまだ持つて
いる。50人以上の企業
32社を対象に集まって
頂き説明し、お願いし
たい。

③ 現在では3千60万円の
財源が必要。この場
合は断言できないが、不
妊治療も含め、積極的
に取り組みたい。



障害者自立支援法(案)制定について

答 現実をみつめて

南雲 淳一郎 議員

障害者福祉サービスの
仕組みを大きく変える障
害者自立支援法(案)は
身体、知的、精神の障害
種別に分かれていたサー
ビスを統合し、サービ
ス量に応じて一割負担(定
率負担)とする内容であ
る。いいかえれば収入に
かわらず、受けたサー
ビスの量で金額が決まる
「応益負担」だ。

私は福祉の理念からし
て「応益負担」はなじま
ないものと考ええる。

障害者が生存のために
最低限必要な介護、例え
ば食事、入浴、排泄など
の支援を受けることが
「応益」であろうか。

市長

応益負担が全て悪いと
はかぎらない。負担能力
に応じたきめ細かな配慮
がされたうえで応益負
担はあってしかるべき。
したがって市としては
この法案が成立した後
は主旨にそった施策の実
施が必要である。

法案の主旨と実現にギ
ャップが生じてはならな
いわけだから障害者福祉
の充実に努めながら、し
かも法案の主旨も活か
せるように総合的な見地
から対応してゆく。



地域で暮らせる老後に、託老所を

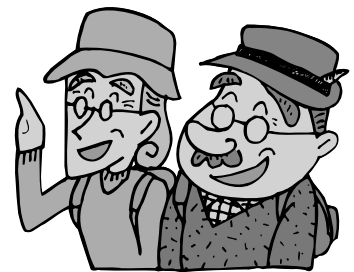
答 国が計画中

岩野 松 議員

「託老所」とは高齢者や障害者が住みなれた所で暮らせ、要介護、介護など、その家族も地域全体で支える地域ケアの仕組み。

民家や空店舗を活用し、10人〜15人位の小規模で、デイサービス、一時宿泊、訪問介護サービス、介護予防等、多機能型施設である。拠点（病院、特養など）を核に10数ヶ所の託老所で支える。南魚沼市でも充実させよ。拠点到城内病院は考えられないか。

また、長野県佐久市では100人の高齢介護施設が8千万円の建設費とのこと。苗場福祉会の特養建設の費用はいくらか。



市長

10月からの介護改定で利用者の尊厳の尊重の理念が取り入れられ、認知症や一人ぐらしの高齢者等を中心に、身近な地域で特性に合わせた24時間サービスも可能な小規模で地域密着型サービスの実現に向けて調査検討中。来年一月に国が計画を提示する予定。その後取り組みのできる事業者から始めてもらう。指定施設は自治体の監督を受ける。

拠点としての城内病院は可能なら模索したい。上町の特養施設（苗場福祉会）の建設費は約14億円。

街路樹に花ミズキを

答 当時の選定経過を無視できない

上村 守 議員

浦佐駅東区画整理事業時に街路樹「西洋青桐」を植栽したが、成長が早く毎年枝打ち、せん定等管理維持に多くの手間と費用をかけている。

植栽された「ハナミズキ」に植え替えを提言したい。新幹線浦佐駅は市の玄関口。イメージアップにもなる。市長の所見を伺う。

市長

併せて、花の時期および落葉時には歩道面の汚れがひどい上に葉は滑り易い。街路樹に面した居住者や店舗経営者はその処理・処分に大変苦慮難儀をしている。

浦佐駅東区画整理事業は昭和55年に完了し、街路樹はその時点で植栽したと聞いている。「西洋青桐」

用がかかる。当時の選定経過を無視できない。現状を維持する中で立ち枯れ等があれば計画的に植え替えをする。今後、市の花・木を制定する予定で必ずしも「ハナミズキ」とは限らない。

そこで、この際多間橋の架け替えに伴い両岸に

指摘の植え替えとなると植入手柄を超え、根張りが進んでいるため歩道工事を含め3千万円以上もの多額の費

建設



被災者生活再建支援法及び関連法令の改正を求める意見書

中山間地は、アパートなどの賃貸借の住宅がなく、地震により損壊した家を再建する以外に郷里に住むことはできません。住宅本体の再建への支援金の支出と支援金額を求める内容です。

・採決結果
全会一致 原案可決
衆議院議長はじめ、各関係方面に提出しました。

公教育である私立高校を守り発展させるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書

私立高校の2004年度初年度納入金の平均額は68万円と公立の5・8倍にもほり、保護者の学費負担は限界の状況となっています。高校生の約3割が私立高校で学んでいることによる、私立高校が公教育に果たして

きた役割に十分留意し、私学助成の増額・拡充を要望するものです。

・採決結果
全会一致 原案可決
内閣総理大臣はじめ各関係方面、および新潟県知事に提出しました。



意見書提出しました。

市議会を傍聴してみませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。
傍聴をご希望の方は、当日市役所3階の傍聴受付に、住所、氏名、年齢を記入していただければ傍聴をすることができます。
詳しいお問い合わせは、議会事務局までご連絡ください。

☎025-773-6655

11月臨時会日程（予定）

11月8日（火）	初 議 会
----------	-------

12月定例会日程（予定）

12月14日（水）	本会議（初 日）
12月15日（木）	休 会
12月16日（金）	休 会
12月19日（月）	本会議（一般質問）
12月20日（火）	本会議（一般質問）
12月21日（水）	本会議（一般質問）
12月22日（木）	本会議（最 終 日）



市の花「カタクリ」

◇編集後記◇

定数30に対し、40人前後の立候補予定者が名乗りを挙げる、初の市議選まであこわすか。9人の編集委員のうち、7人までが出馬を予定しているあつて、今回の編集は事務局の手を借りる場面が多くありました。連載物の幾つかが姿を消しましたが、市議選後、新メンバーの手でより良い議会報に生まれ変わることを願ってやみません。
この議会だよりがお手元に届く11月1日は、新市の議員任期が始まる日です。議会だよりを通して、市民の皆様から、時には厳しく、時には暖かい眼を、どうぞ一人一人の議員に向けていただくことを心より念じて、ペンを置きます。

委員長 中沢俊一